

磐田市子育てに関するアンケート調査 調査結果（抜粋）

I 調査概要

1 調査の目的

磐田市では、子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援制度のもと、5年間を1期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に各種の事業を実施することとなったため、市民を対象にアンケート調査を実施した。

2 調査方法

調査対象：磐田市在住の就学前児童の保護者 3,000人

調査方法：郵送配付・郵送回収

調査期間：平成25年9月19日～平成25年10月4日

3 回収状況

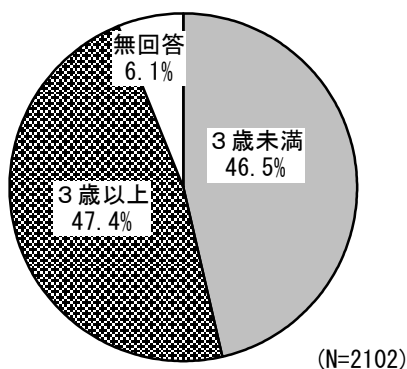
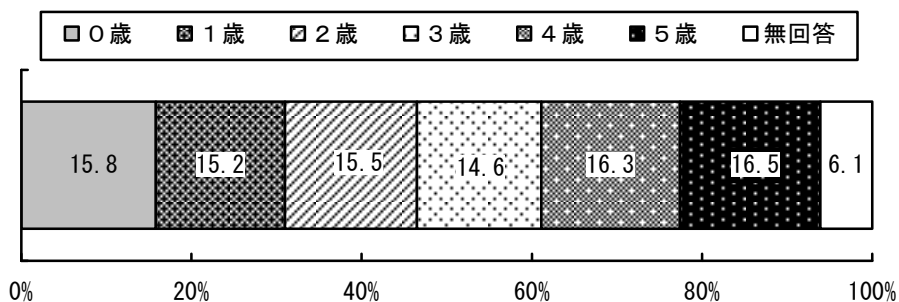
| 発送数 | 回収数 | 有効回収数 | 有効回収率 |
|-------|-------|-------|-------|
| 3,000 | 2,112 | 2,102 | 70.1% |

*有効回収数：回収票から、全く回答がないもの（白票）や子の年齢記入が調査対象外年齢であるものを除いた数

II 調査結果

子の年齢（学年齢）

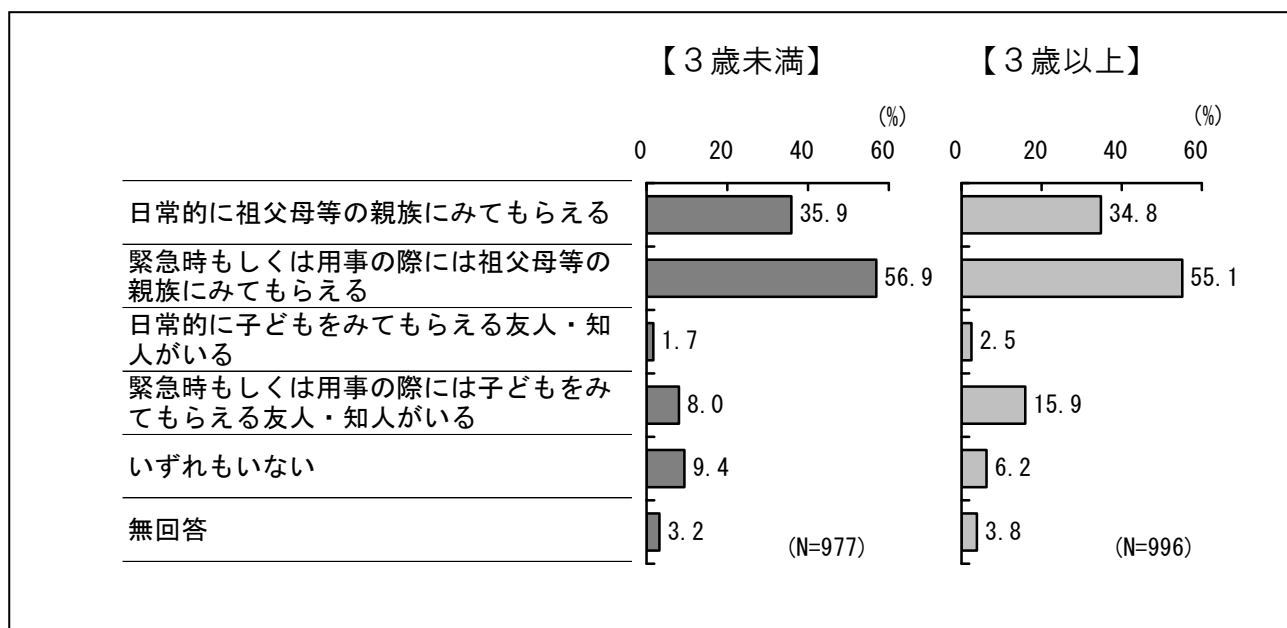
(N=2102)



| 学年齢 | 生年月の範囲 |
|-----|-----------------|
| 0歳 | 平成24年4月～平成25年3月 |
| 1歳 | 平成23年4月～平成24年3月 |
| 2歳 | 平成22年4月～平成23年3月 |
| 3歳 | 平成21年4月～平成22年3月 |
| 4歳 | 平成20年4月～平成21年3月 |
| 5歳 | 平成19年4月～平成20年3月 |

※平成25年4月～10月に生まれた子は学年齢の0歳に満たないため、全体集計には含まれるが、学年齢を軸にした集計には含まれない。

問 12 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(○はあてはまるものすべて)

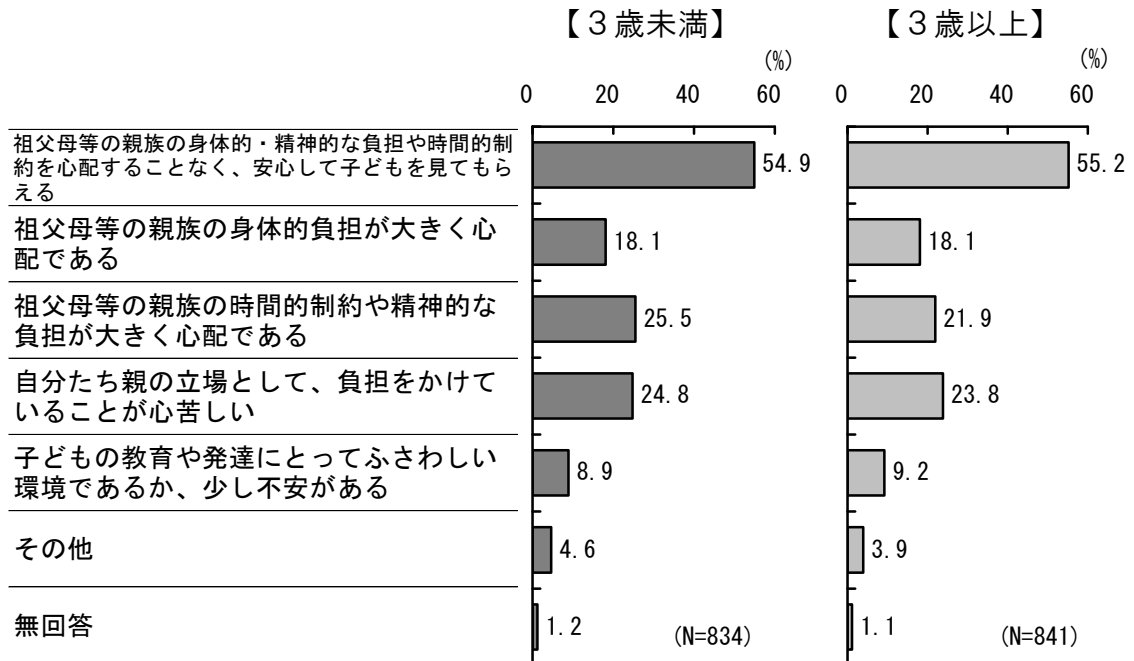


日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の状況は、3歳未満では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」56.9%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」35.9%などとなっている。3歳以上では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」55.1%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」34.8%などとなっている。

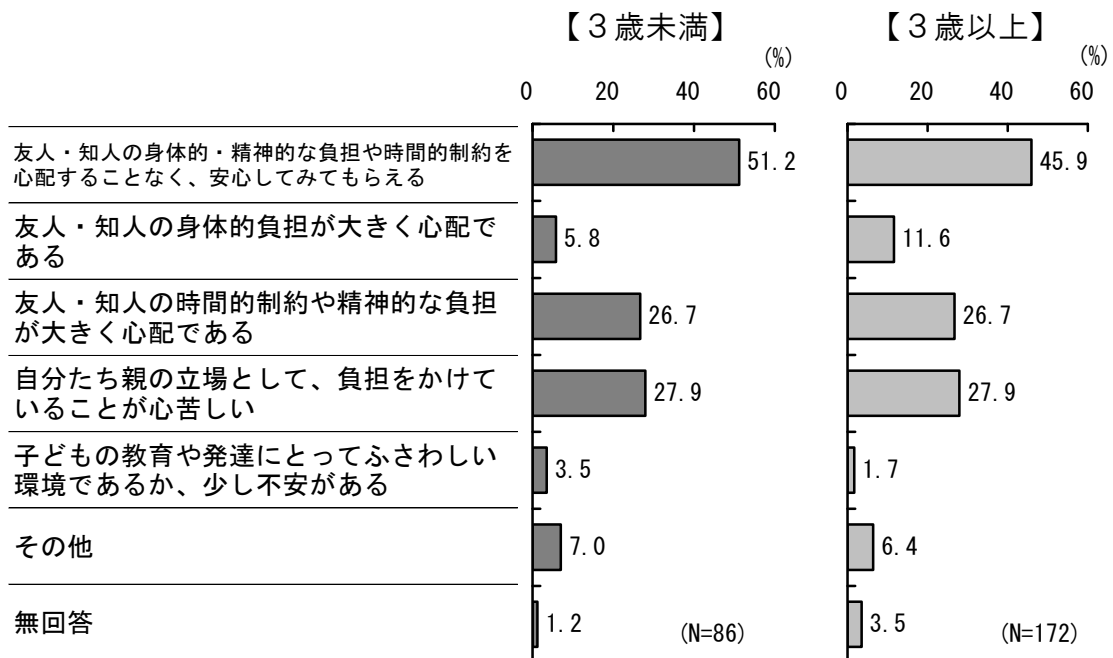
問 12-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(○はあてはまるものすべて)

問 12-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(○はあてはまるものすべて)

◆祖父母等の親族



◆友人・知人

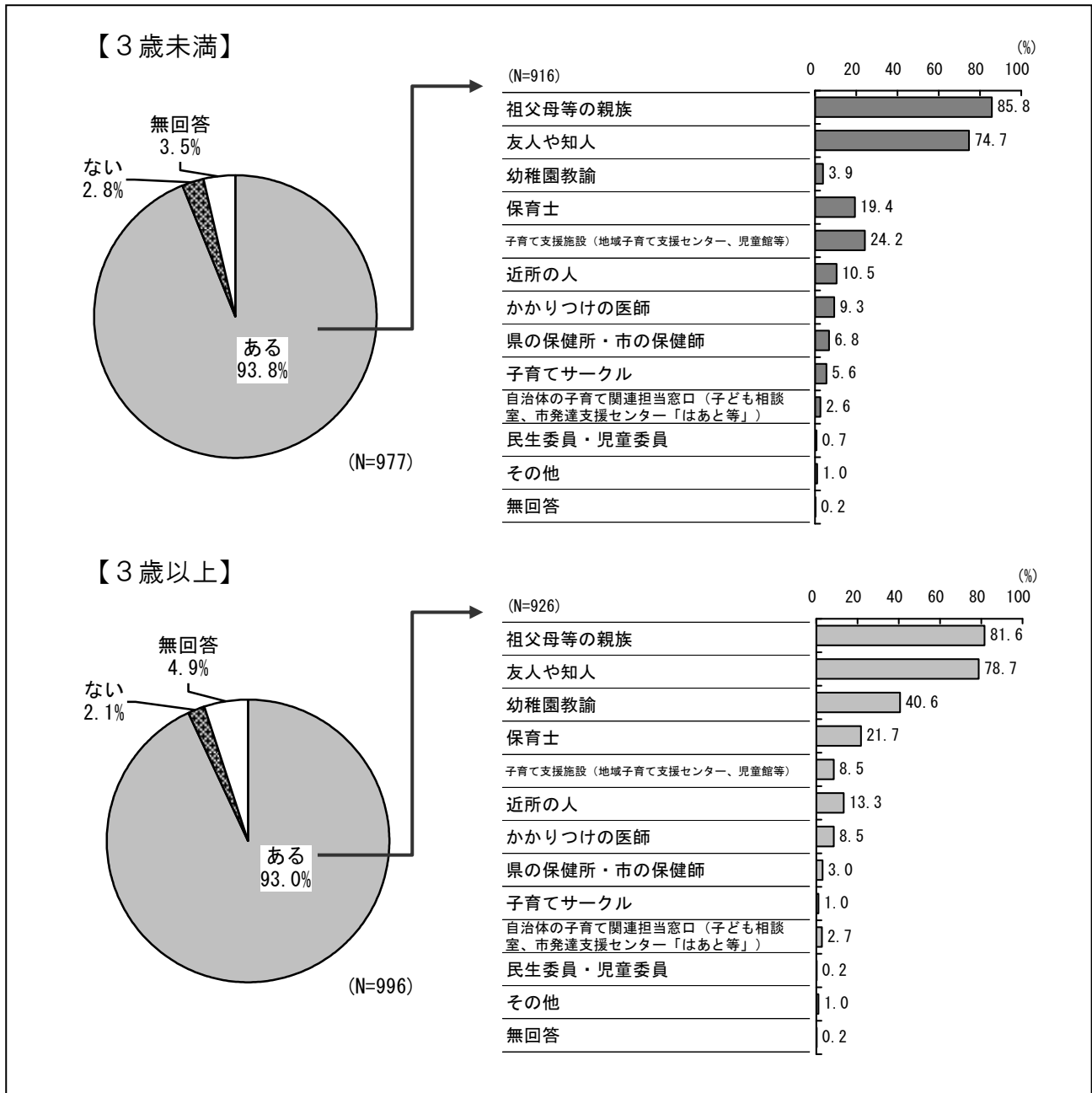


祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況は、3歳未満では「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる」54.9%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」25.5%などとなっている。3歳以上では、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる」55.2%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」23.8%などとなっている。

友人・知人に子どもをみてもらっている状況は、3歳未満では「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心してみてもらえる」51.2%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」27.9%などとなっている。3歳以上では、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心してみてもらえる」45.9%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」27.9%などとなっている。

問 13 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。（○は1つ）

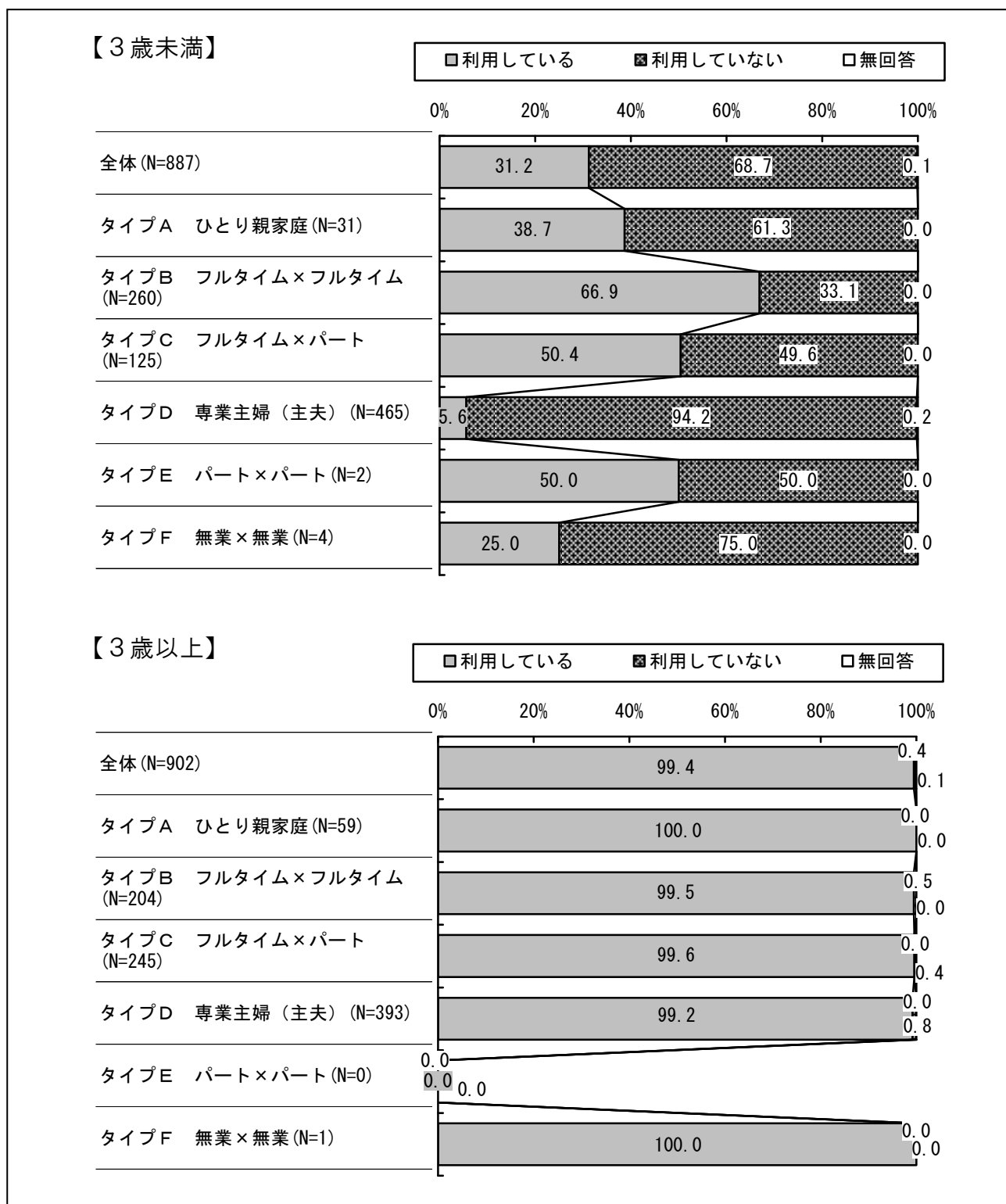
問 13-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（○はあてはまるものすべて）



子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所の有無は、「ある」が3歳未満93.8%、3歳以上93.0%となっている。

「ある」と答えた人の子育て（教育を含む）に関して気軽に相談できる先は、3歳未満では「祖父母等の親族」85.8%、「友人や知人」74.7%、「子育て支援施設（地域子育て支援センター、児童館等）」24.2%などとなっている。3歳以上では「祖父母等の親族」81.6%、「友人や知人」78.7%、「幼稚園教諭」40.6%などとなっている。

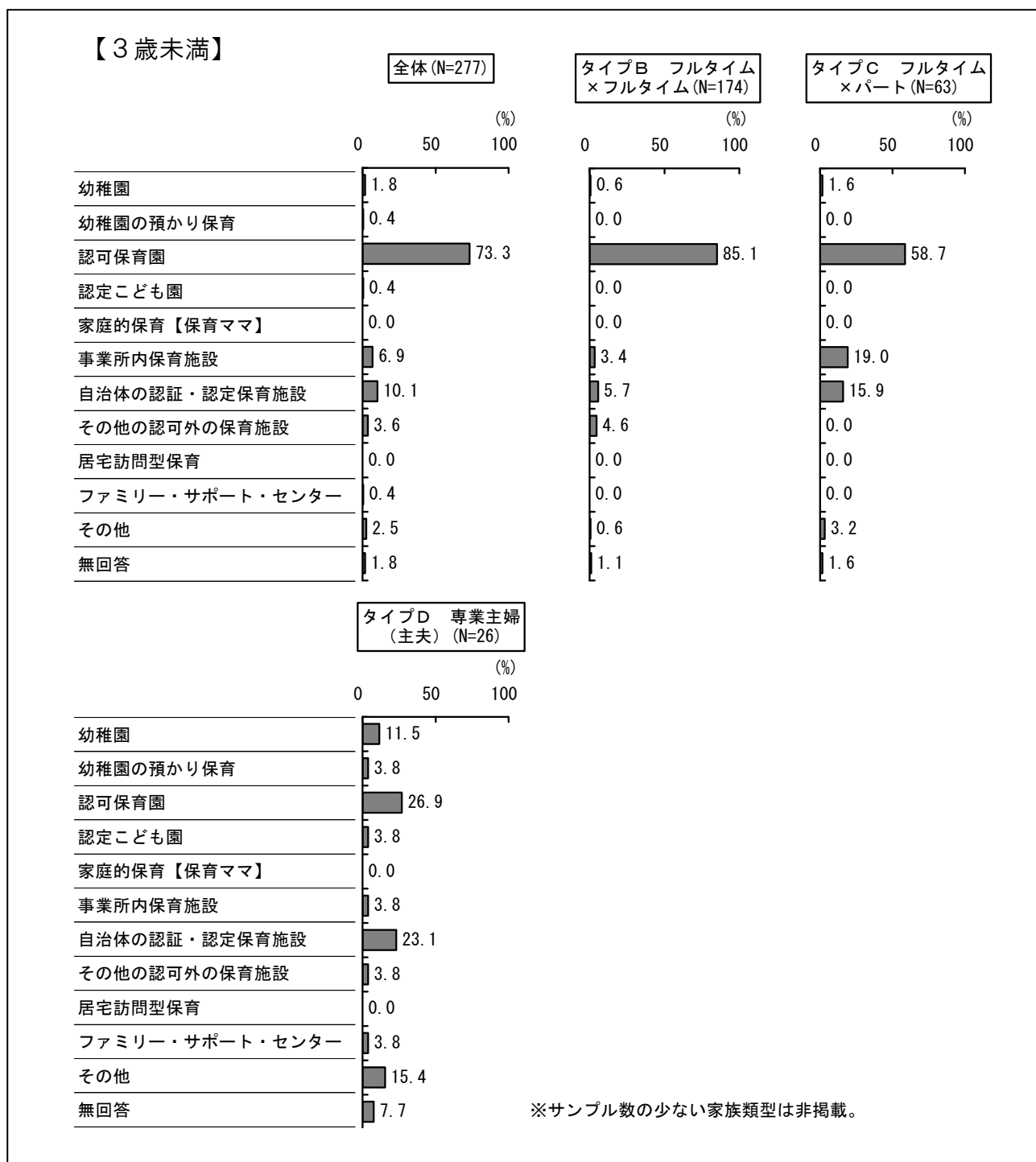
問 18 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用して
いますか。(○は1つ)



現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」の利用状況は、「利用している」が3歳未満31.2%、3歳以上99.4%となっている。

家族類型別にみると、3歳未満では「利用している」がタイプB：フルタイム×フルタイムで66.9%と高く、タイプD：専業主婦（主夫）で5.6%と低くなっている。3歳以上では大差はみられない。

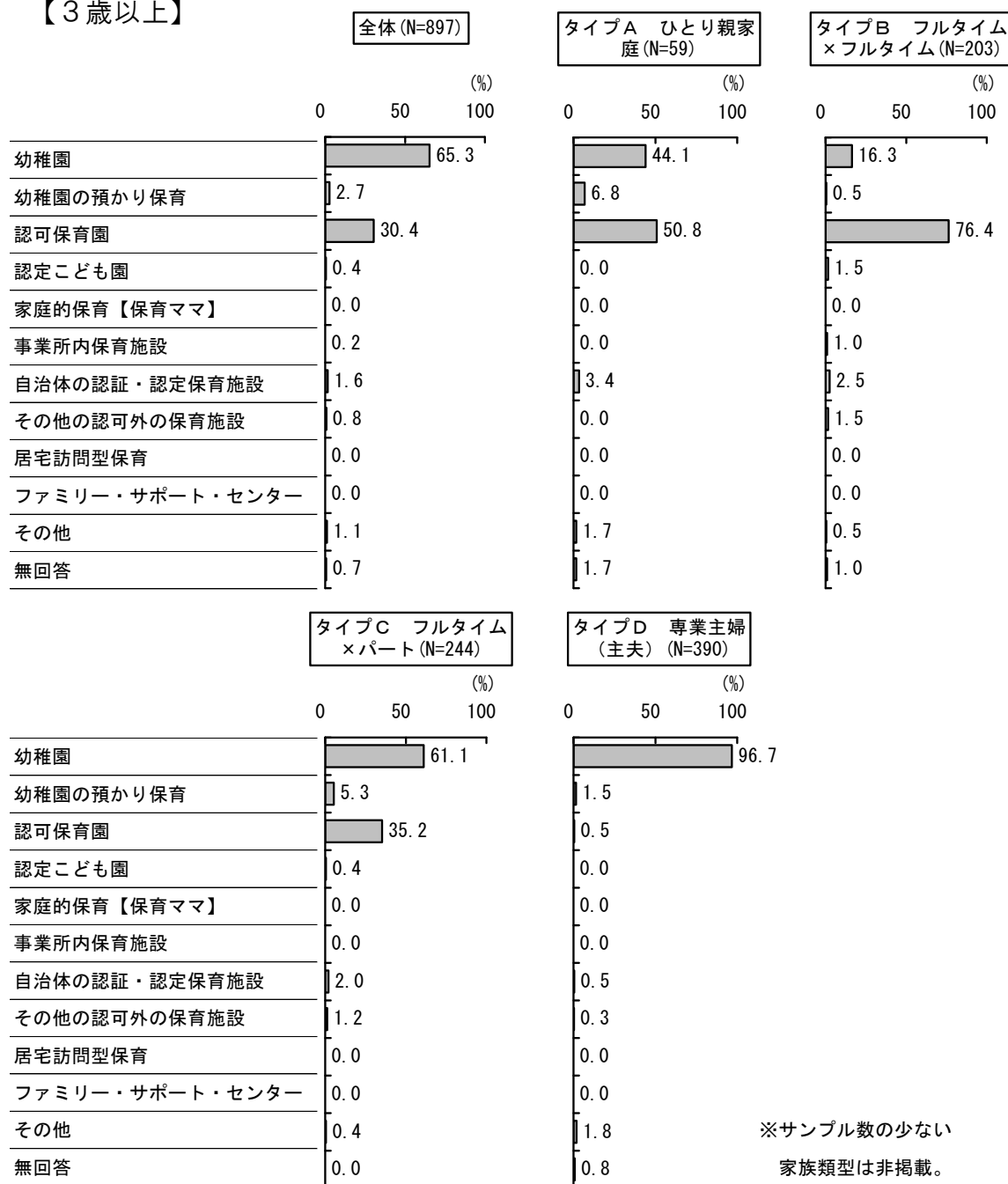
問 18-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。(〇はあてはまるものすべて)



定期的な教育・保育の事業を「利用している」と答えた人の平日に利用している事業は、3歳未満では「認可保育園」73.3%、「自治体の認証・認定保育施設」10.1%、「事業所内保育施設」6.9%などとなっている。

家族類型別にみると、タイプB：フルタイム×フルタイムで「認可保育園」が85.1%と高くなっている。

【3歳以上】

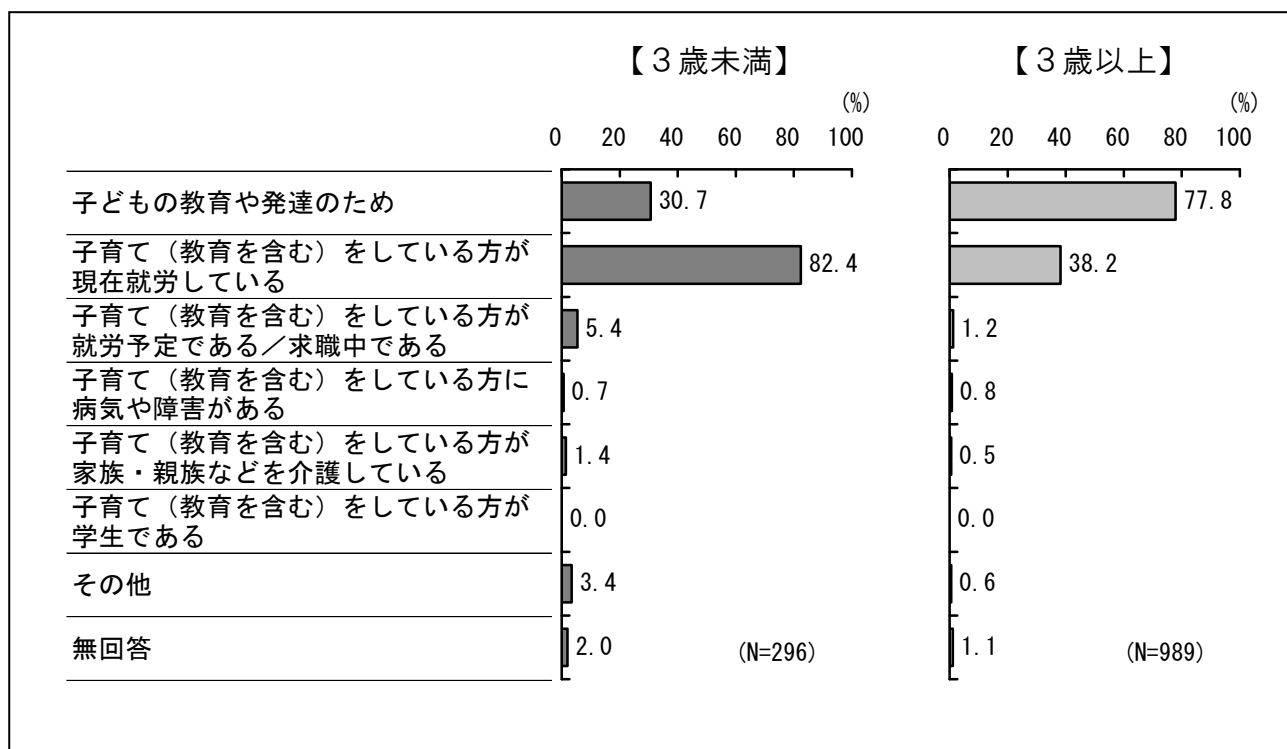


※サンプル数の少ない
家族類型は非掲載。

3歳以上では「幼稚園」65.3%、「認可保育園」30.4%、「幼稚園の預かり保育」2.7%などとなっている。

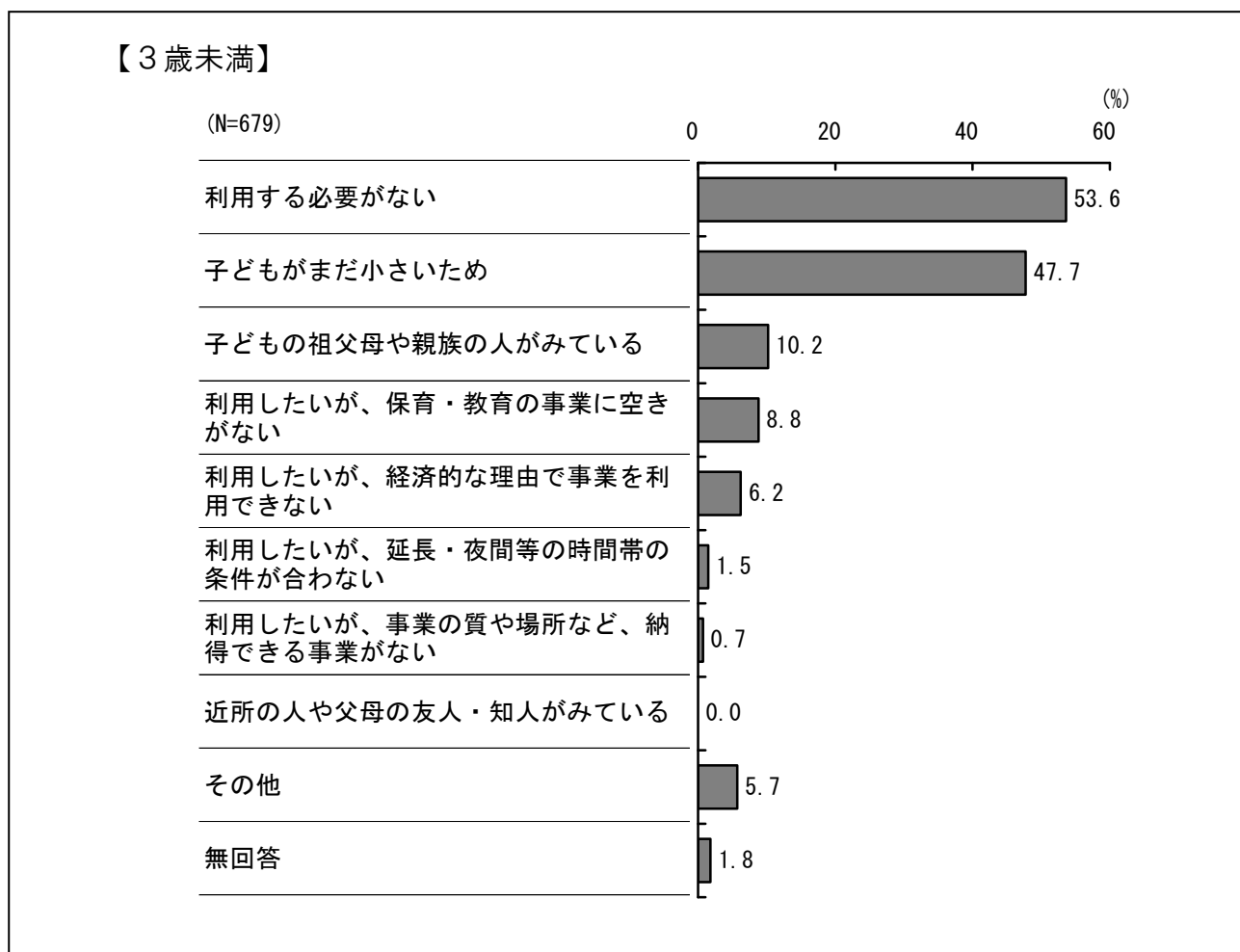
家族類型別にみると、タイプD：専業主婦（主夫）で「幼稚園」96.7%、タイプB：フルタイム×フルタイムで「認可保育園」76.4%と、他の家族類型に比べ高くなっている。

問 18-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)



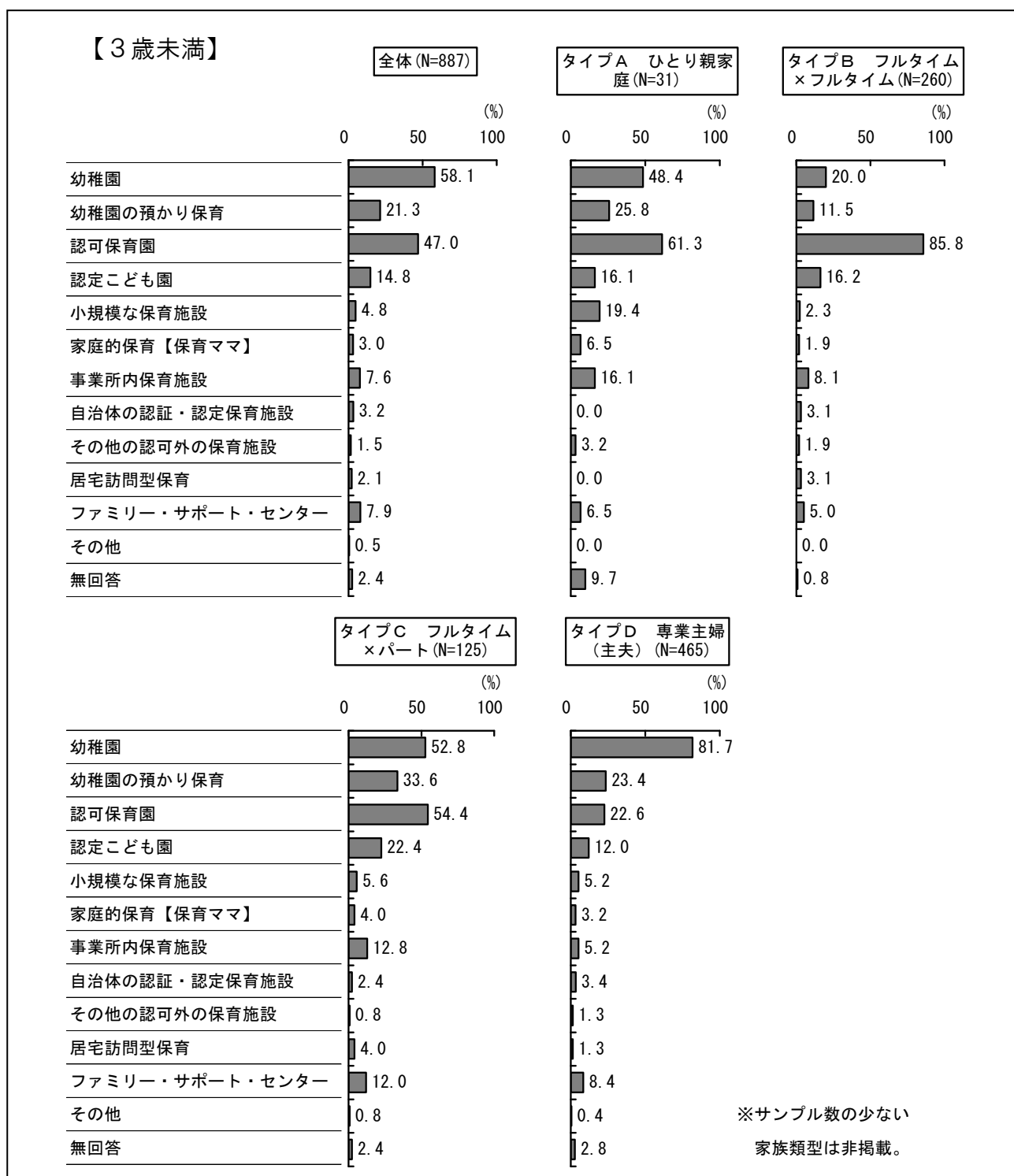
定期的な教育・保育の事業を「利用している」と答えた人の平日に利用している理由は、3歳未満では「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」82.4%、「子どもの教育や発達のため」30.7%などとなっている。3歳以上では、「子どもの教育や発達のため」77.8%、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」38.2%などとなっている。

問 18-5 定期的な教育・保育の事業を利用していない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)



定期的な教育・保育の事業を「利用していない」と答えた人の利用していない理由は、3歳未満では「利用する必要がない」53.6%、「子どもがまだ小さいため」47.7%などとなっている。

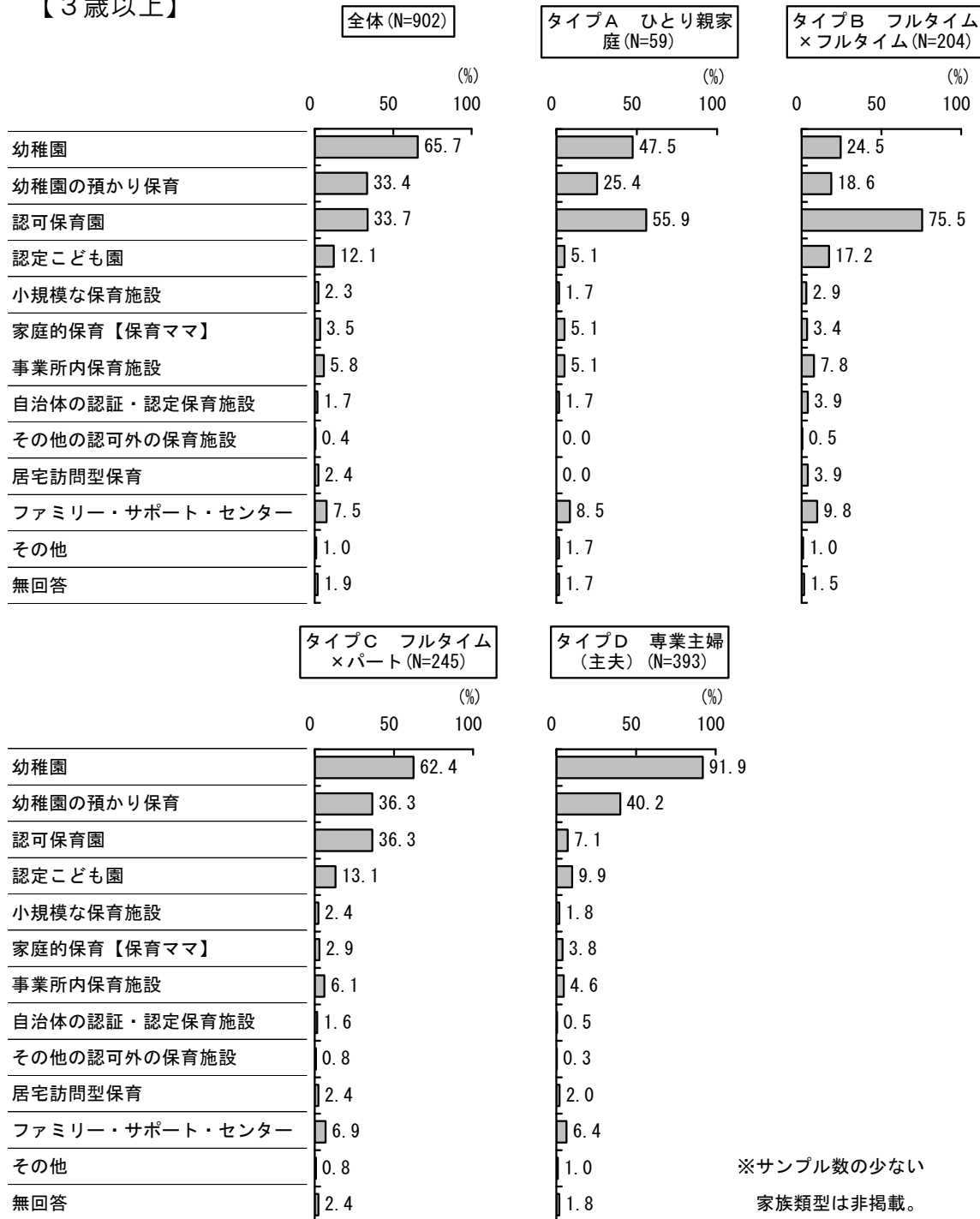
問 19 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(〇はあてはまるものすべて)



平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業は、3歳未満では「幼稚園」58.1%、「認可保育園」47.0%、「幼稚園の預かり保育」21.3%などとなっている。

家族類型別にみると、タイプB：フルタイム×フルタイムで「認可保育園」が85.8%、タイプD：専業主婦（主夫）で「幼稚園」が81.7%と高くなっている。

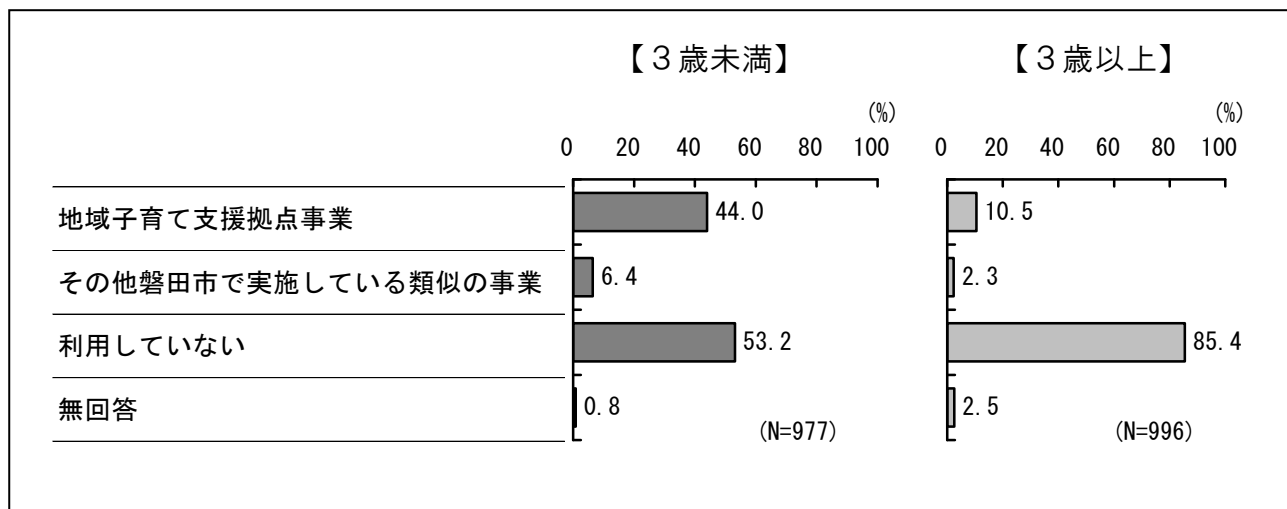
【3歳以上】



3歳以上では「幼稚園」65.7%、「認可保育園」33.7%、「幼稚園の預かり保育」33.4%などとなっている。

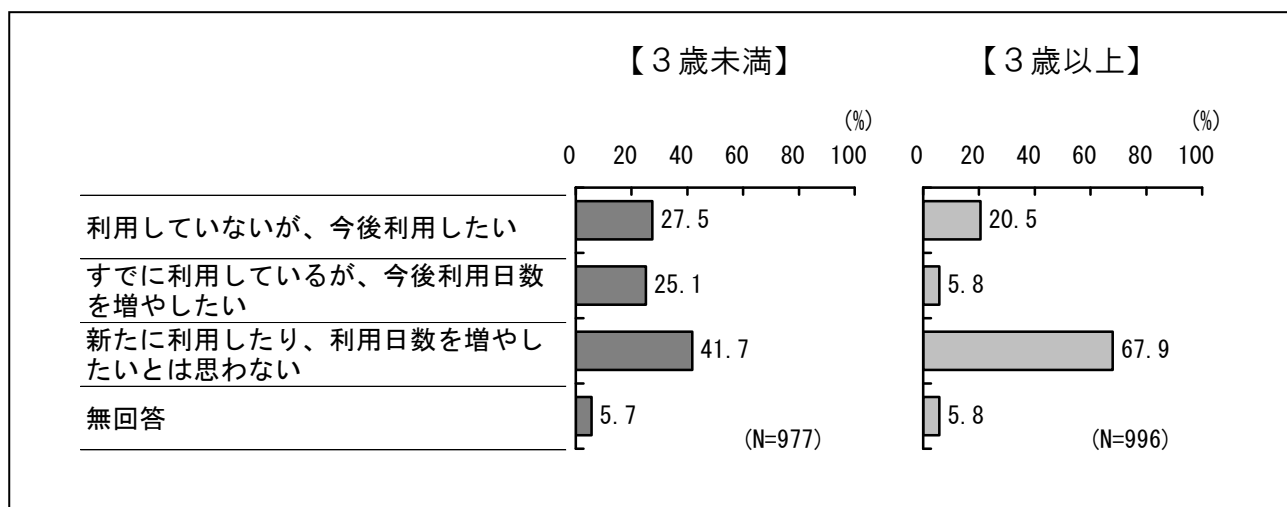
家族類型別にみると、タイプD：専業主婦（主夫）で「幼稚園」が91.9%、タイプB：フルタイム×フルタイムで「認可保育園」が75.5%と高くなっている。

問 20 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」「つどいの広場」等と呼ばれます）を利用していますか。（〇はあてはまるものすべて）



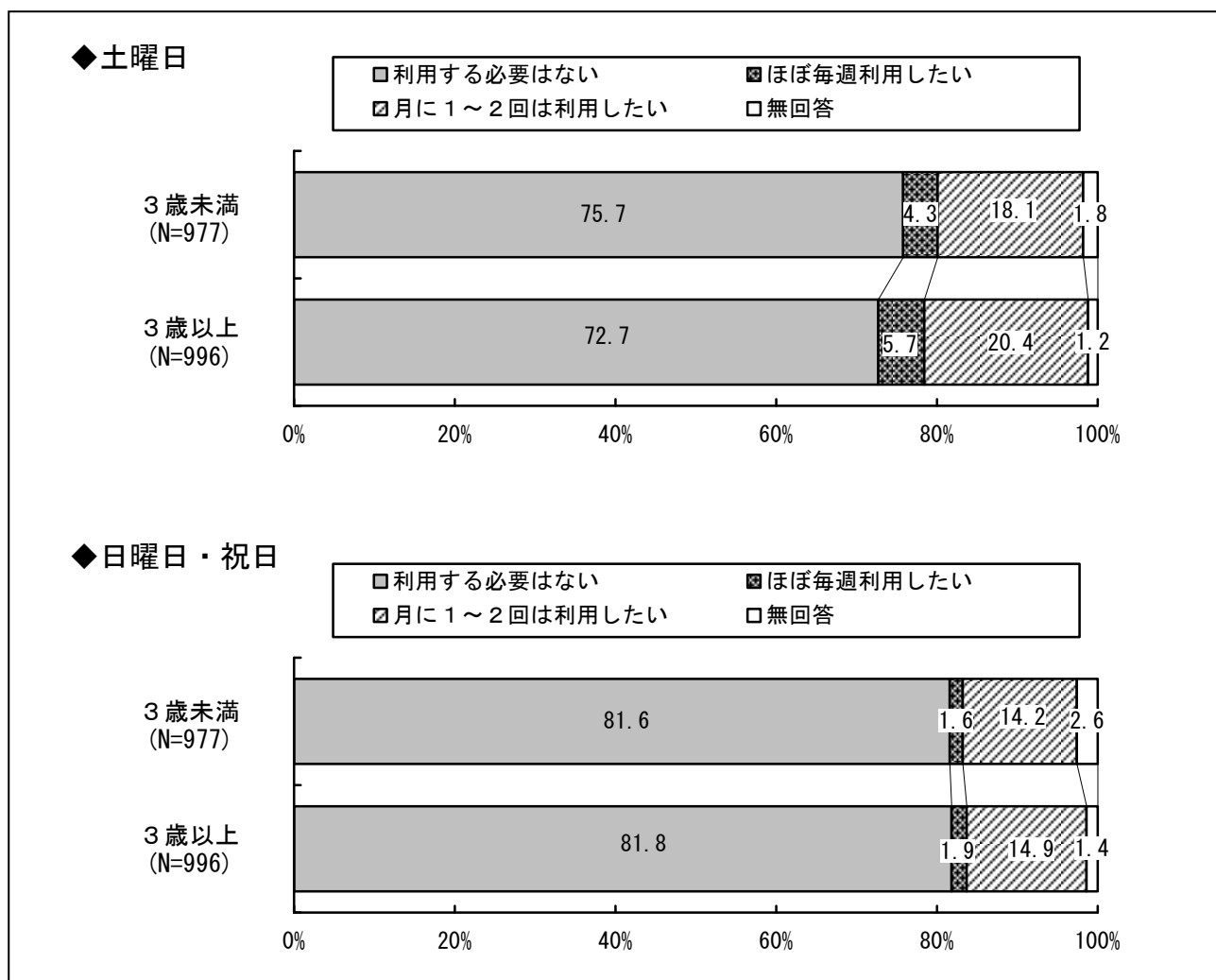
利用している地域子育て支援拠点事業は、3歳未満では「地域子育て支援拠点事業」44.0%、「その他磐田市で実施している類似の事業」6.4%、「利用していない」53.2%となっている。3歳以上では「地域子育て支援拠点事業」10.5%、「その他磐田市で実施している類似の事業」2.3%、「利用していない」85.4%となっている。

問 21 問 20 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。(〇は1つだけ)



地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思うかは、3歳未満では「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」41.7%、「利用していないが、今後利用したい」27.5%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」25.1%となっている。3歳以上では「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」67.9%、「利用していないが、今後利用したい」20.5%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」5.8%となっている。

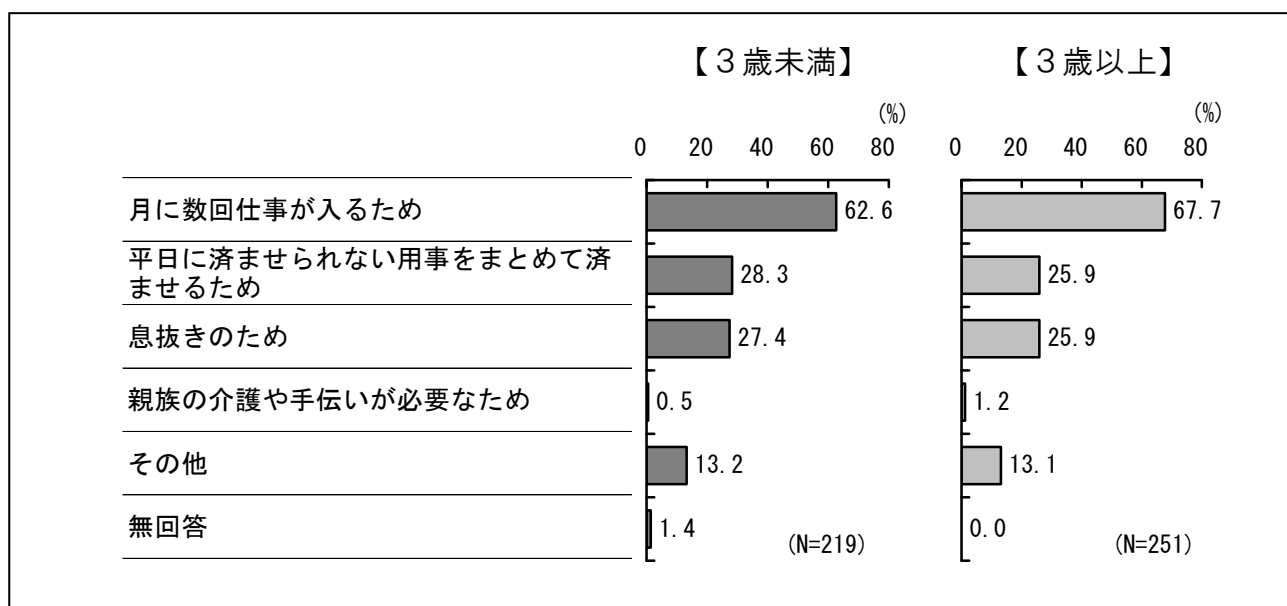
問 23 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（○は1つ）



土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用意向は、「利用する必要はない」が3歳未満 75.7%、3歳以上 72.7%となっている。

日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用意向は、「利用する必要はない」が3歳未満 81.6%、3歳以上 81.8%となっている。

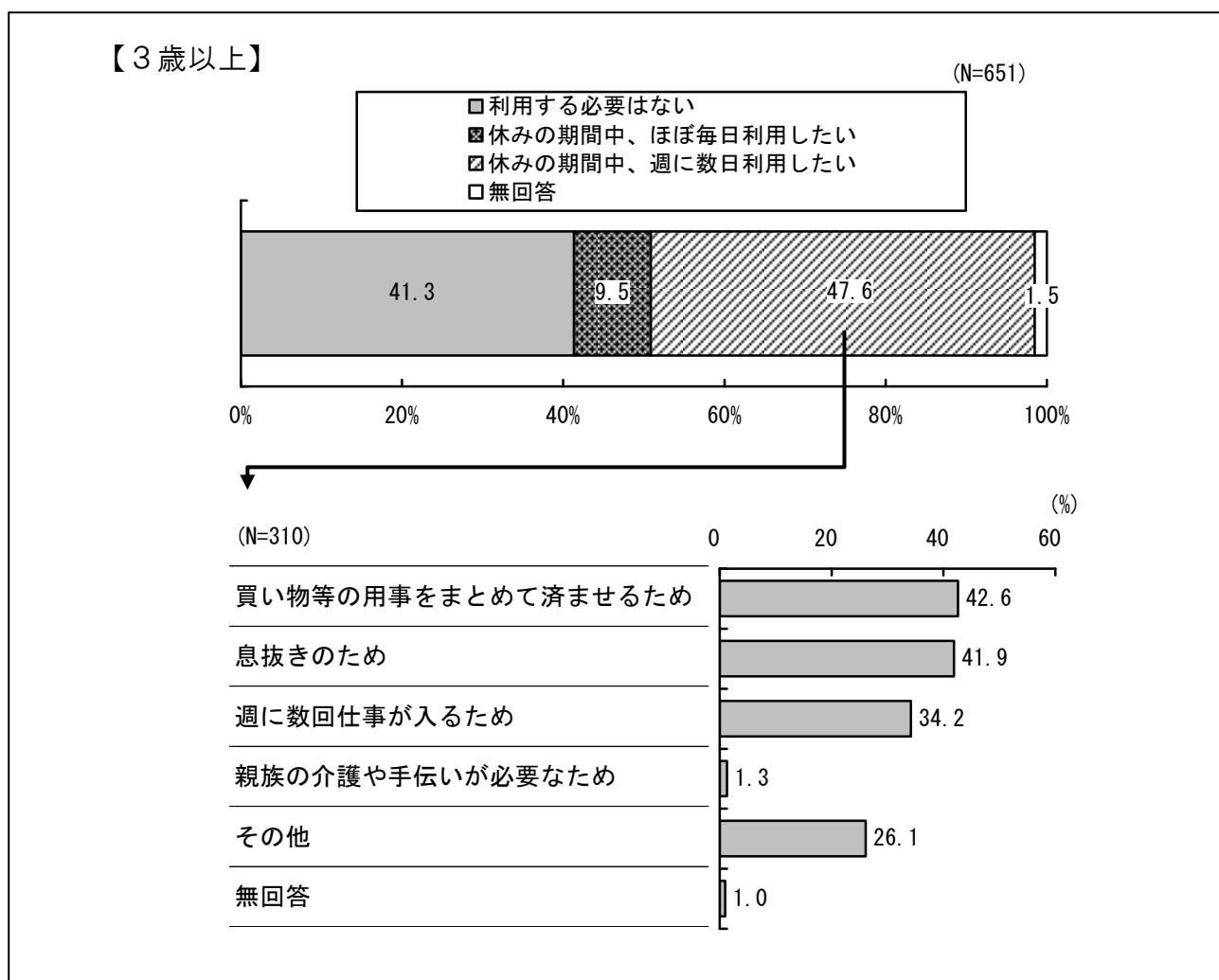
問 23-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)



土曜日または日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業を「月に1～2回は利用したい」と答えた人のたまに利用したい理由は、3歳未満では「月に数回仕事が入るため」62.6%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」28.3%、「息抜きのため」27.4%などとなっている。3歳以上では「月に数回仕事が入るため」67.7%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」「息抜きのため」25.9%などとなっている。

問 24 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。(○は1つ)

問 24-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

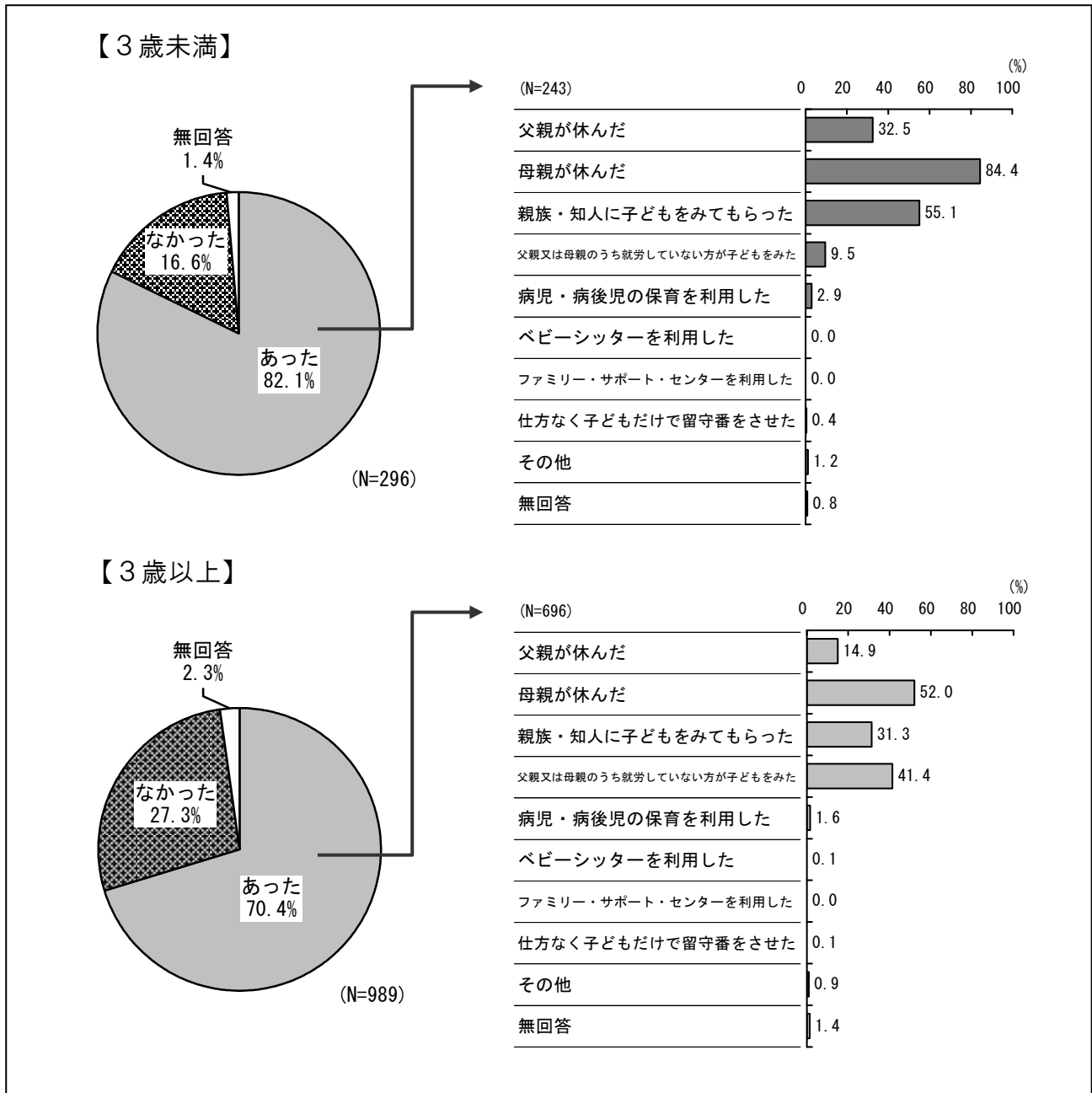


夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用意向は、3歳以上では「休みの期間中、週に数日利用したい」47.6%、「利用する必要はない」41.3%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」9.5%となっている。

「休みの期間中、週に数日利用したい」と答えた人のたまに利用したい理由は、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」42.6%、「息抜きのため」41.9%、「週に数回仕事が入るため」34.2%などとなっている。

問 25 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。(○は1つ)

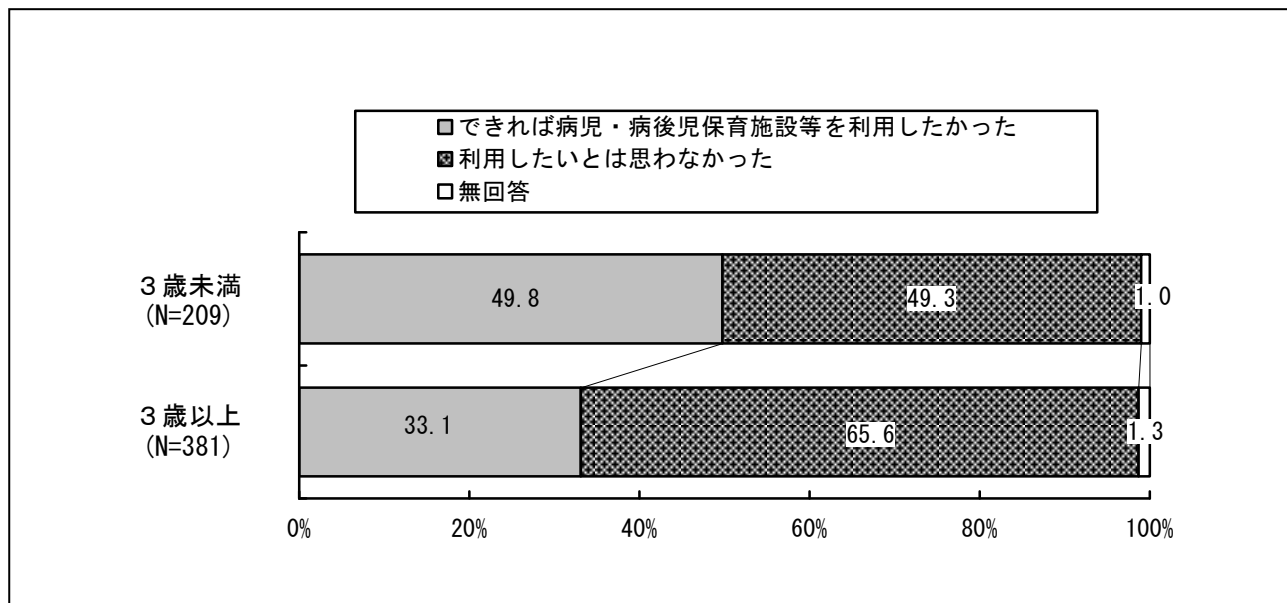
問 25-1 この1年間に、病気やケガで普段利用している教育・保育の事業ができなかった場合の対処方法は何ですか。(○はあてはまるものすべて)



この1年間に病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことの有無は、「あった」が3歳未満82.1%、3歳以上70.4%となっている。

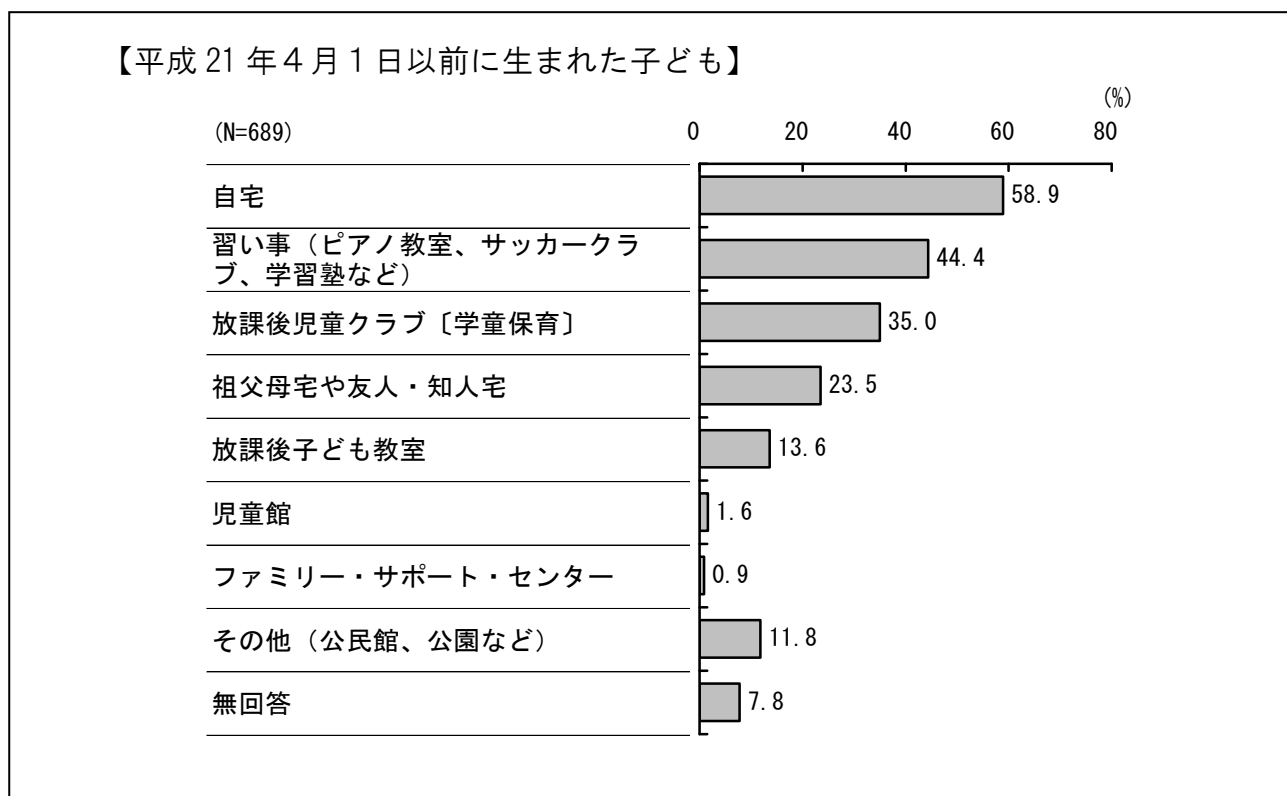
「あった」と答えた人の対処方法は、3歳未満では「母親が休んだ」84.4%、「親族・知人に子どもをみてもらった」55.1%、「父親が休んだ」32.5%などとなっている。3歳以上では「母親が休んだ」52.0%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」41.4%、「親族・知人に子どもをみてもらった」31.3%などとなっている。

問 25-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われましたか。(〇は1つ)



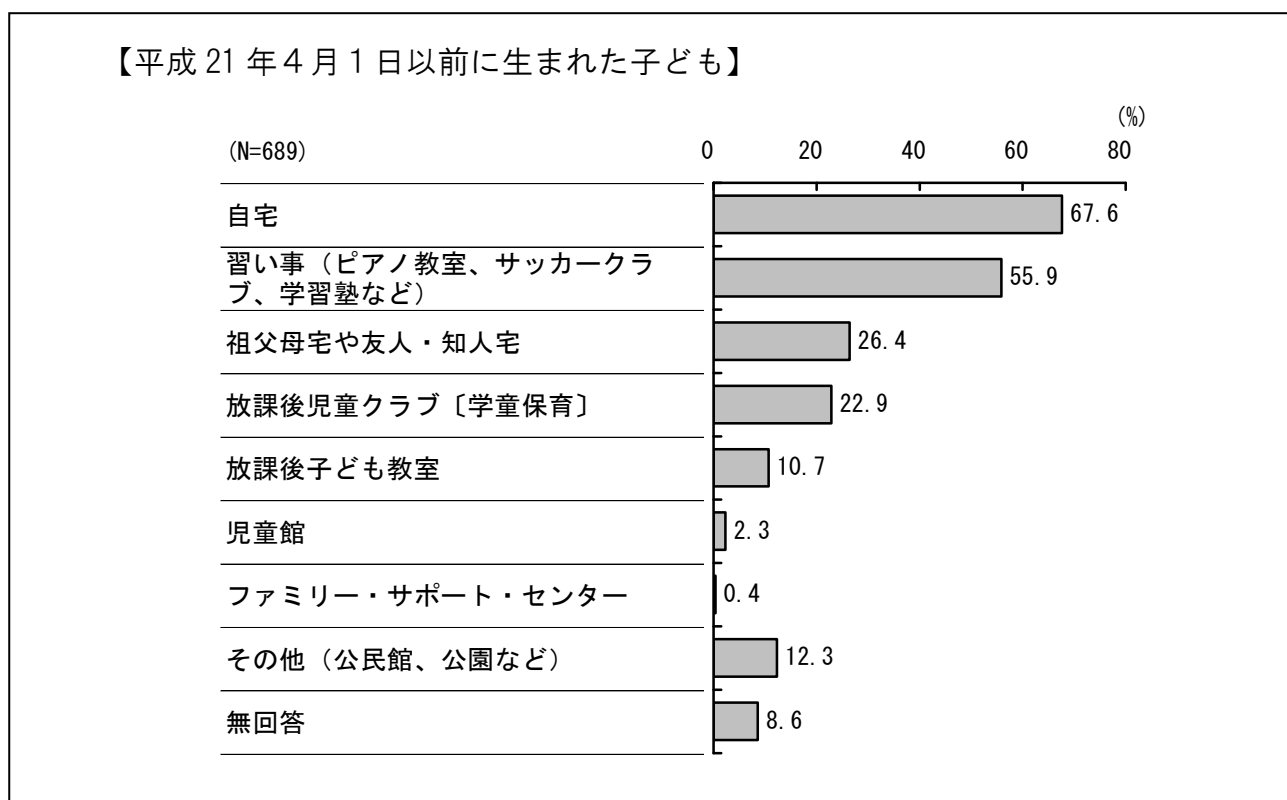
この1年間に病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことが「あった」と答えた人の「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思ったかは、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」が3歳未満 49.8%、3歳以上 33.1%となっている。

問 29 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校下校後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はあてはまるものすべて）



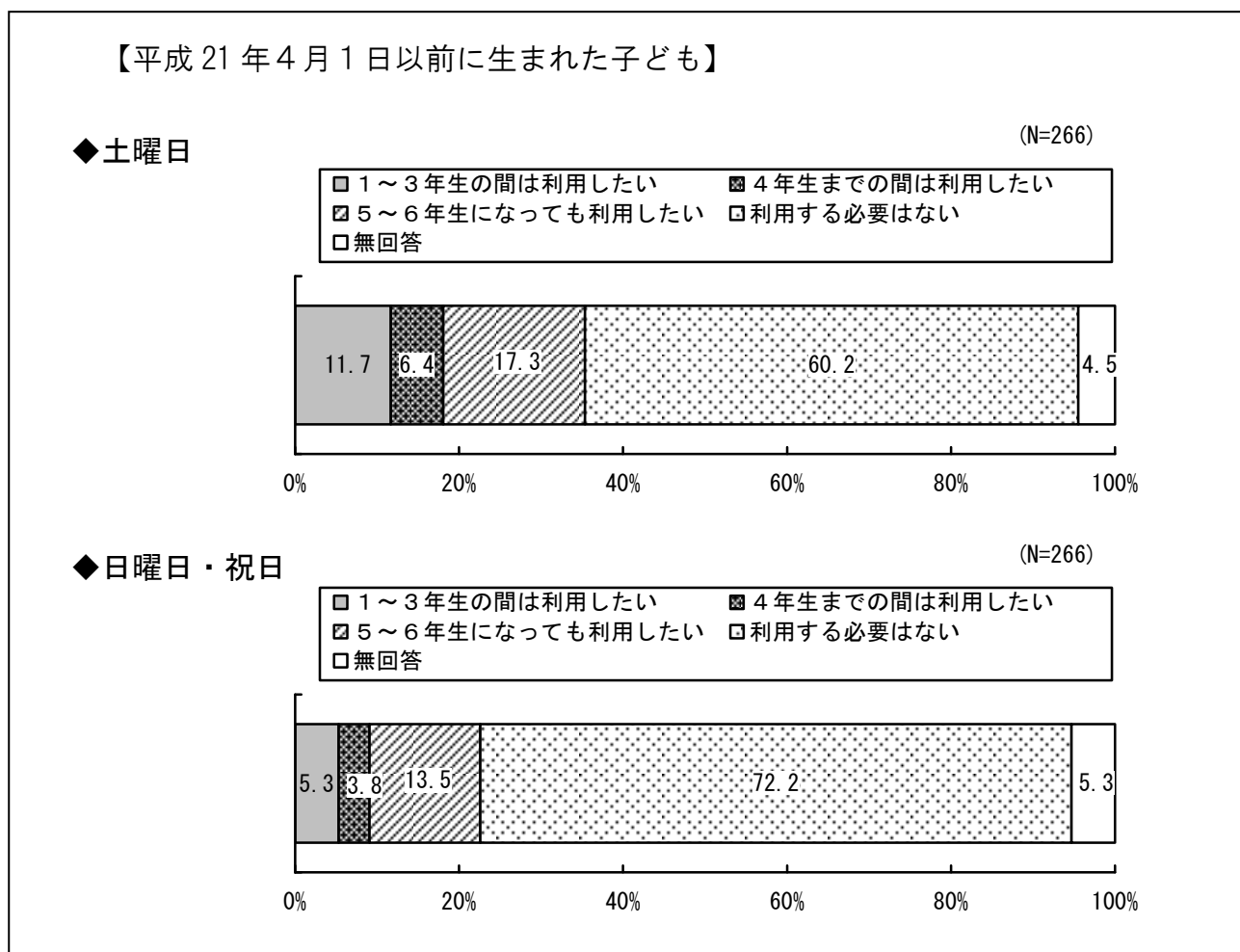
小学校低学年（1～3年生）のうちに放課後の時間を過ごさせたい場所は、「自宅」58.9%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」44.4%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」35.0%などとなっている。

問 30 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校下校後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はあてはまるものすべて）



小学校高学年（4～6年生）になったら放課後の時間を過ごさせたい場所は、「自宅」67.6%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」55.9%、「祖父母宅や友人・知人宅」26.4%などとなっている。

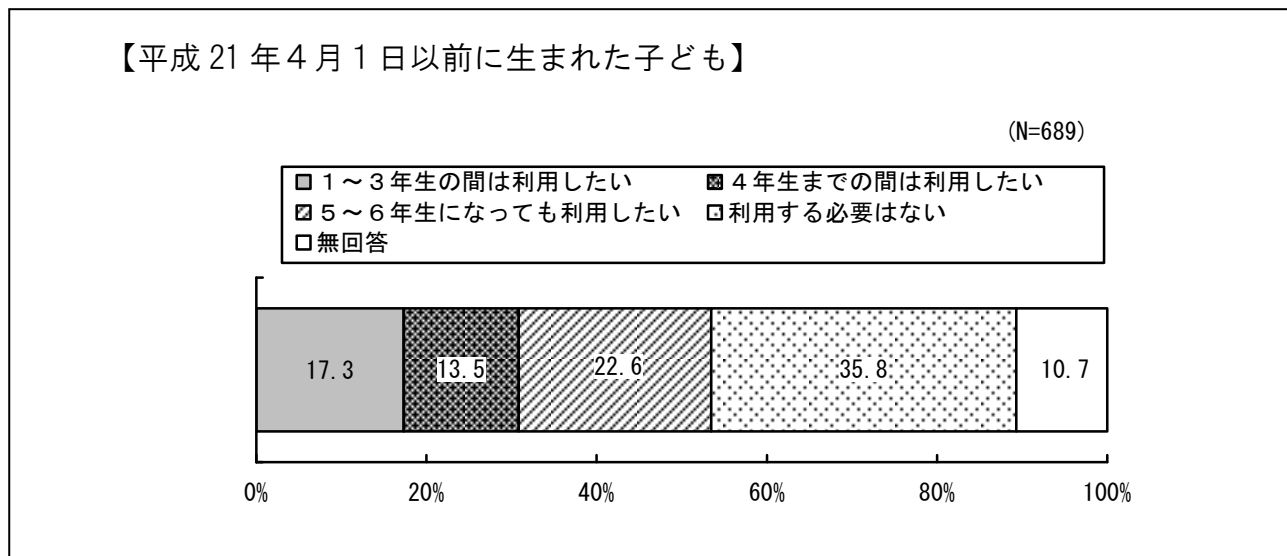
問 31 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(〇は1つ)



小学校低学年（1～3年生）または小学校高学年（4～6年生）のうちに放課後の時間を過ごさせたい場所で「放課後児童クラブ」と回答した人の土曜日の利用希望は、「利用する必要はない」60.2%、「5～6年生になっても利用したい」17.3%、「1～3年生の間は利用したい」11.7%などとなっている。

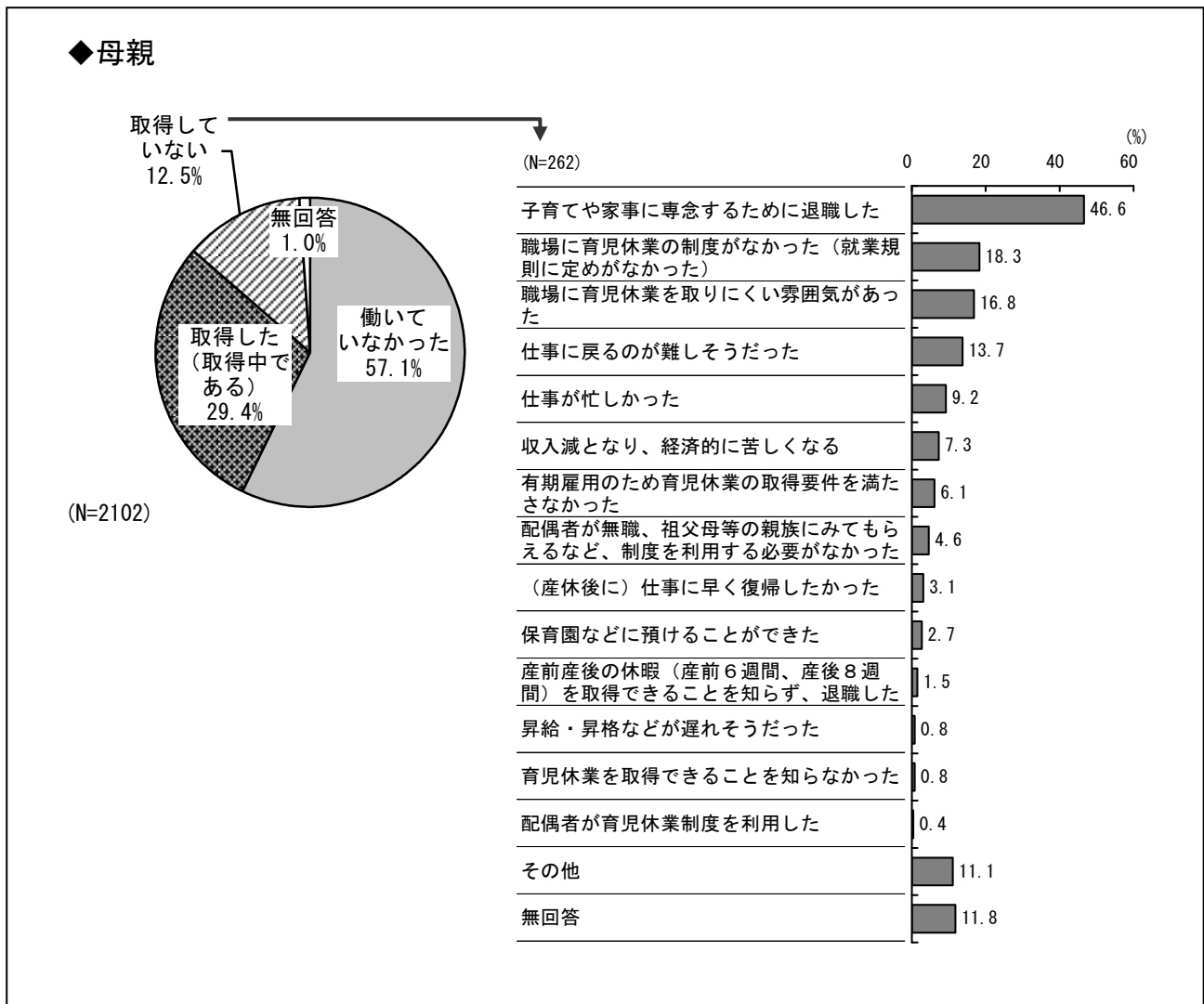
日曜日・祝日の利用希望は、「利用する必要はない」72.2%、「5～6年生になっても利用したい」13.5%、「1～3年生の間は利用したい」5.3%などとなっている。

問 32 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(○は1つ)



夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」35.8%、「5～6年生になっても利用したい」22.6%、「1～3年生の間は利用したい」17.3%などとなっている。

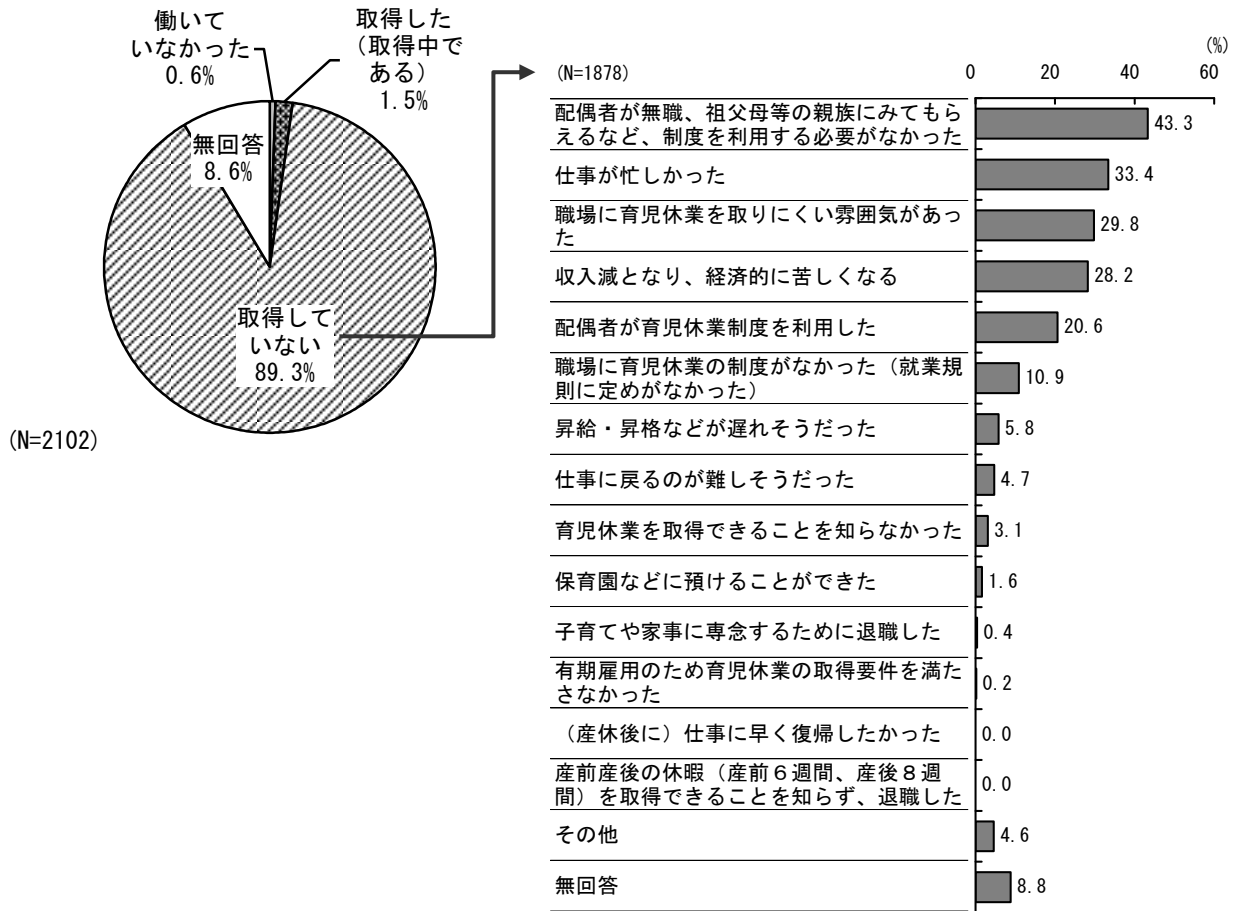
問 33 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。(○は1つ) また、取得していない方はその理由をお答えください。(○はあてはまるものすべて)



子どもが生まれた時の母親の育児休業取得状況は、「働いていなかった」57.1%、「取得した(取得中である)」29.4%、「取得していない」12.5%となっている。

「取得していない」と答えた人の取得しなかった理由は、「子育てや家事に専念するために退職した」46.6%、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」18.3%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」16.8%などとなっている。

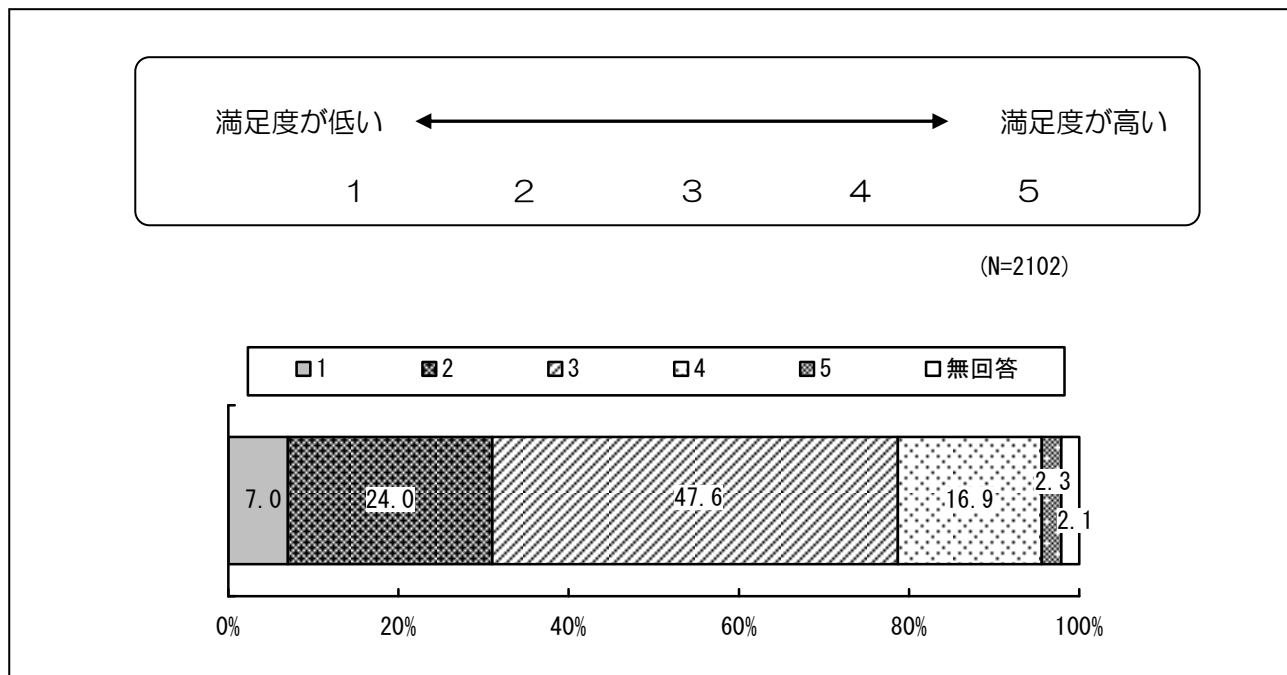
◆父親



子どもが生まれた時の父親の育児休業取得状況は、「働いていなかった」0.6%、「取得した(取得中である)」1.5%、「取得していない」89.3%となっている。

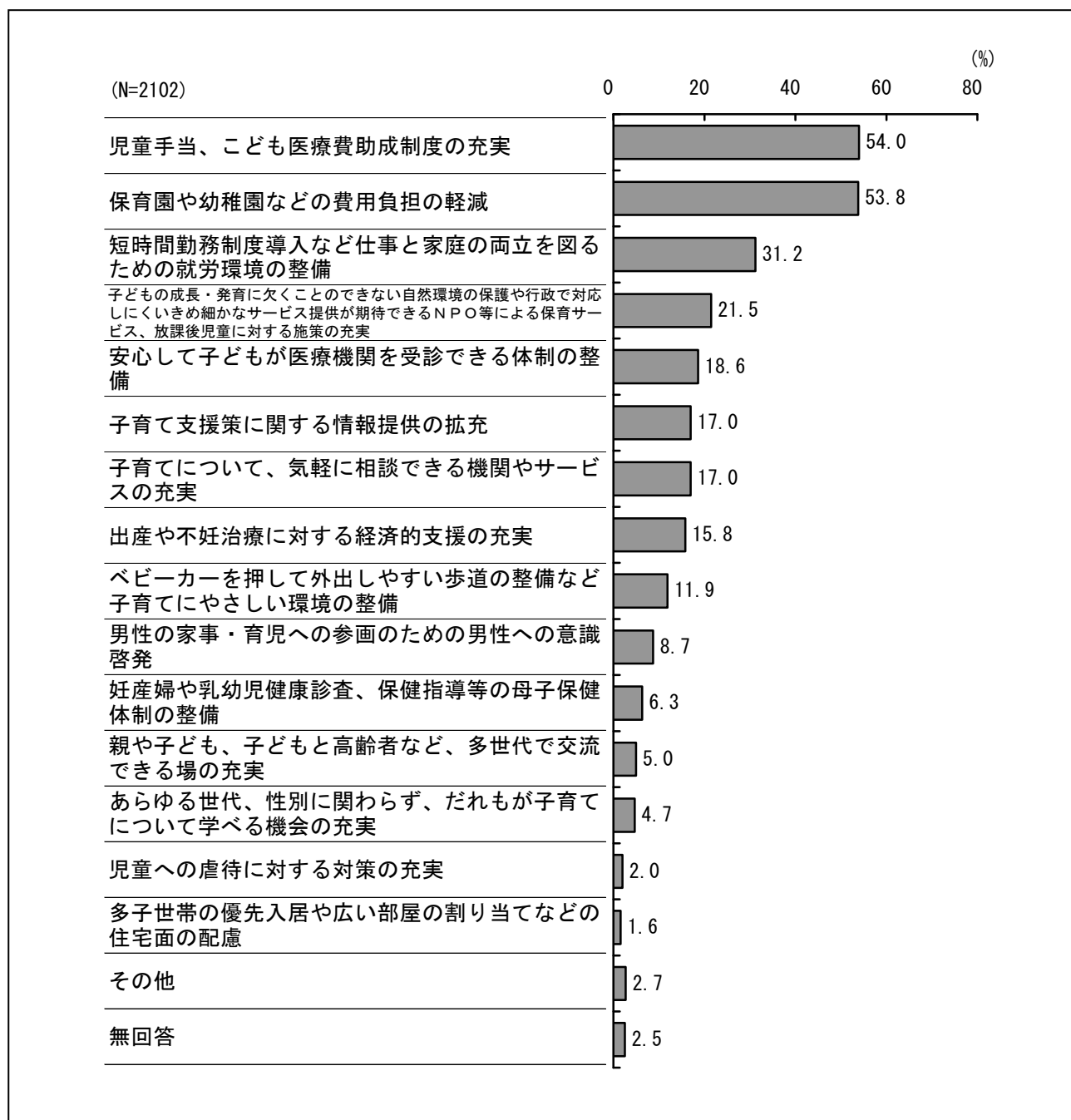
「取得していない」と答えた人の取得しなかった理由は、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」43.3%、「仕事が忙しかった」33.4%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」29.8%などとなっている。

問 34 磐田市の子育て環境や支援の満足度について、1～5の5段階評価でお答えください。(1～5のうち、あてはまる番号に1つに○)



磐田市の子育て環境や支援の満足度は、満足度が中間の「3」47.6%、「2」24.0%、「4」16.9%などとなっている。

問 35 子育てを支援するために効果の高いと考えられる施策についてお答えください。(〇は3つまで)



子育てを支援するために効果の高いと考えられる施策は、「児童手当、こども医療費助成制度の充実」54.0%、「保育園や幼稚園などの費用負担の軽減」53.8%、「短時間勤務制度導入など仕事と家庭の両立を図るための就労環境の整備」31.2%などとなっている。